

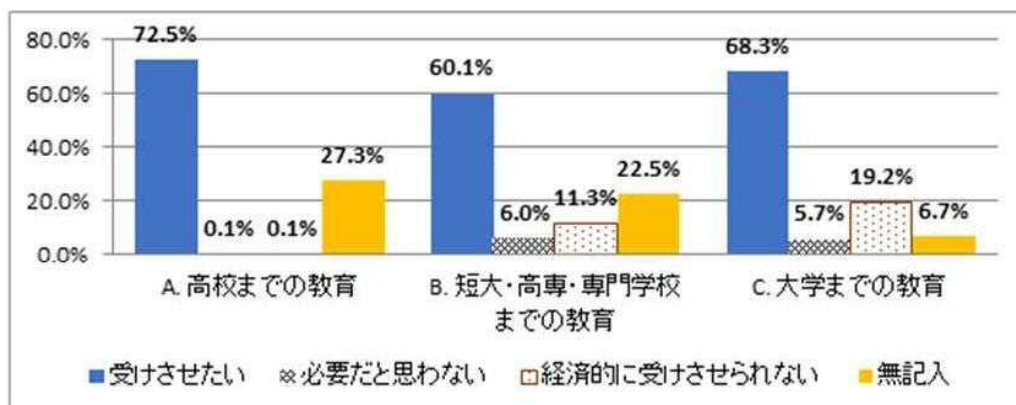
## 子育て世帯調査（新潟県子どもの貧困実態調査） 結果の概要

「子育て世帯調査」は、新潟県に住む子どもを取り巻く社会や経済の状況が、どのように子どもの成長や日々の生活などに影響しているかを調べ、これからの子どもや子育て環境への対策を検討していくこと及び支援を要する緊急度の高い子どもや親に優先的に施策が講じられ、より効果的な支援が実施されるよう、必要な施策の推進につなげることを目的として実施しました。

調査は県内在住の18歳未満の子どもがいる3,000世帯を対象に郵送アンケートにより実施し、そのうち回答の得られた1,695世帯について集計しました。

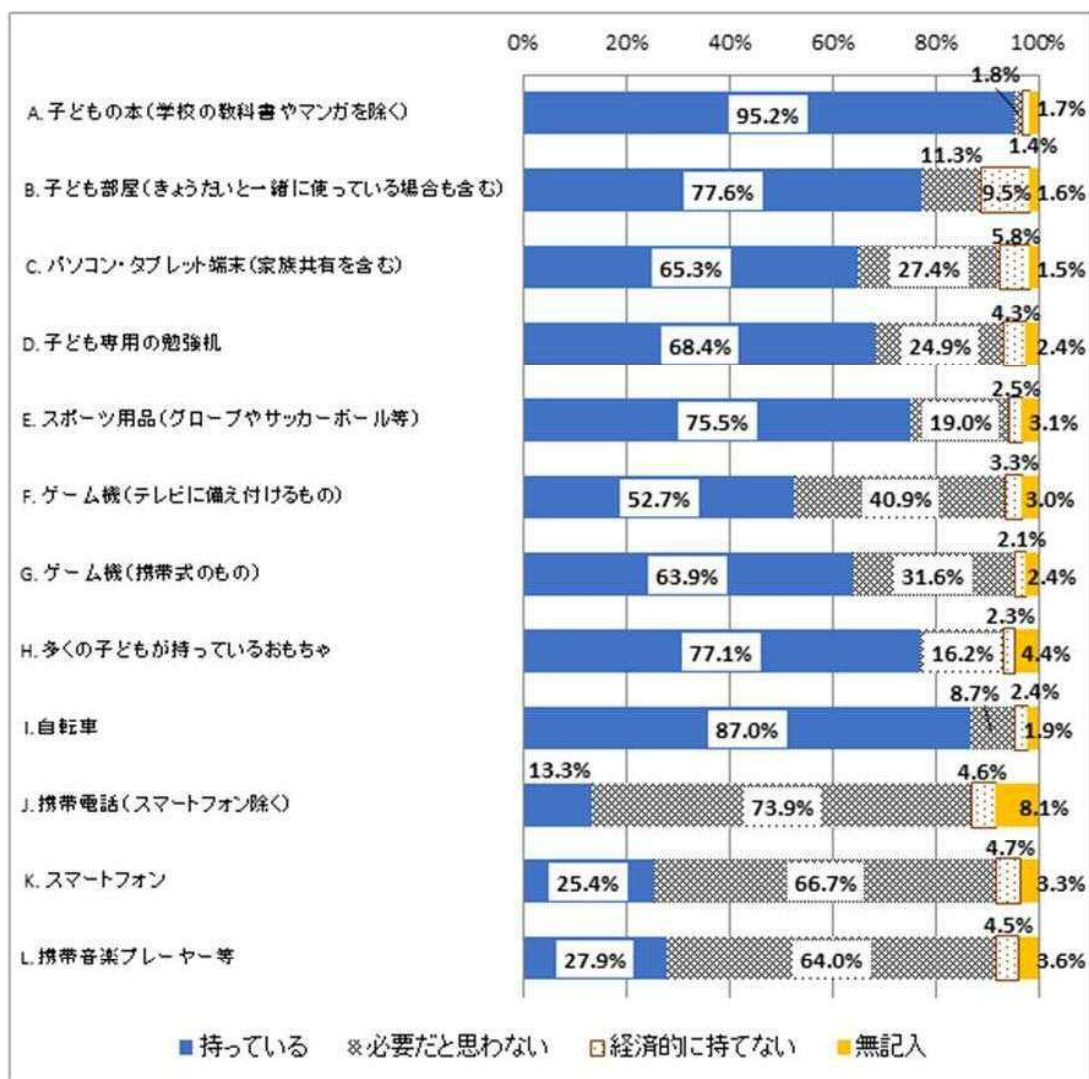
### 1 子どもに受けさせたい教育

○子どもにどの段階までの教育を受けさせたいか、という問いに対して、「経済的に受けさせられない」と回答した割合は高校0.1%、短大・高専・専門学校11.3%、大学19.2%となりました。



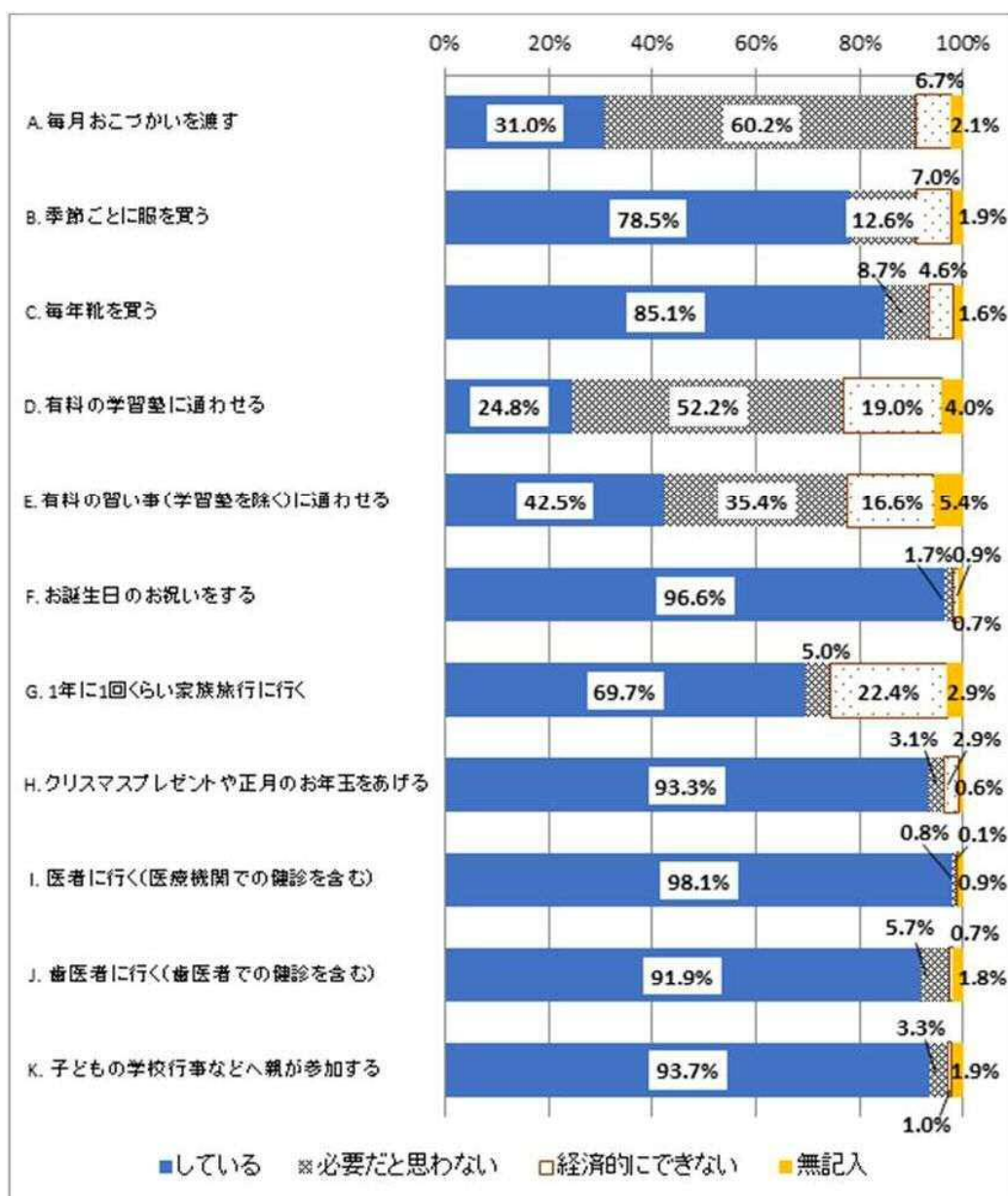
## 2 物品の所有状況

○子ども用に持っているものについての問いに対して、「経済的に持てない」と回答した割合は、「子ども部屋(きょうだいと一緒に使っている場合も含む)」が9.5%で最多となりました。



### 3 子どもへの支出

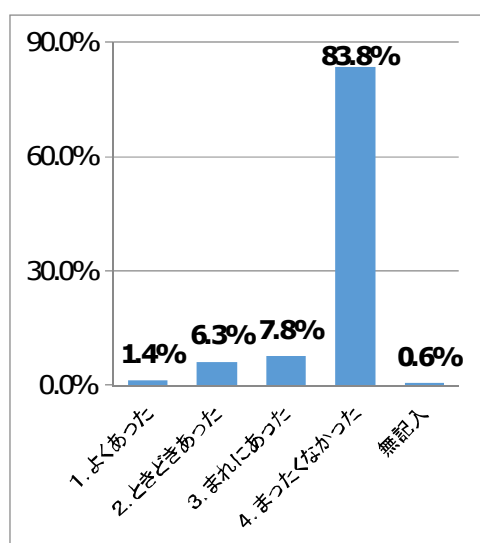
○子どもへの支出についての問いに対して、「経済的にできない」と回答した割合は、「1年に1回くらい家族旅行に行く」が22.4%で最多、ついで「有料の学習塾に通わせる」が19.0%、「有料の習い事に通わせる」が16.6%となりました。



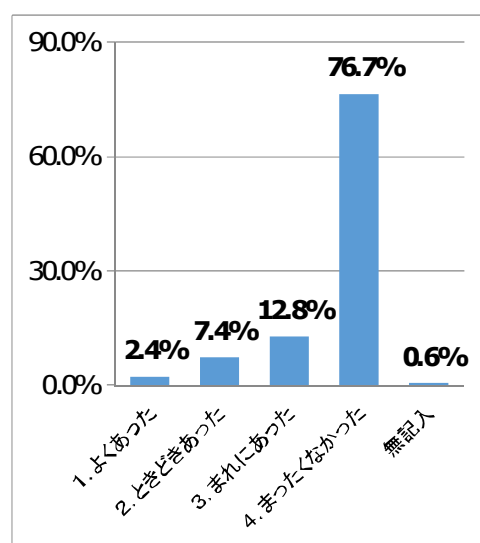
## 4 困窮経験

○経済的な理由で必要な食料（嗜好品を除く）や衣料が買えなかったことがあるか、という問いに対して、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」と回答した割合は、食料では15.5%、衣料で22.6%となりました。

○食料が買えなかった経験



○衣料が買えなかった経験



子育て世帯調査  
(新潟県子どもの貧困実態調査)  
調査結果 (全体)

平成 28 年 11 月  
新潟県福祉保健部  
児童家庭課

## 目次

調査目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

調査手法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

回収状況等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

### 調査結果

#### I 全体

【1. お子さんのことについて】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

- ①物品の所有状況
- ②子どもへの支出
- ③子どもの部活動・クラブ活動の状況
- ④子どもの無料の学習機会・体験活動の利用
- ⑤子どもに受けさせたい教育
- ⑥子どもが1週間に朝ごはんを食べる回数
- ⑦子どもだけの食事の状況
- ⑧子どものゲーム・スマホ利用時間（平日）
- ⑨子どものゲーム・スマホ利用時間（休日）

【2. お子さんとの関係について】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

- ⑩子どもとの会話
- ⑪子どもと過ごす時間
- ⑫子どもの将来の夢

【3. 職業・収入等について】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

- ⑬お母さんの就労
- ⑭お母さんの勤務形態
- ⑮お母さんの普段の帰宅時間
- ⑯お母さんの最終学歴
- ⑰お父さんの就労
- ⑱お父さんの勤務形態
- ⑲お父さんの普段の帰宅時間
- ⑳お父さんの最終学歴
- ㉑世帯収入

【4. 現在の暮らし等について】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

- ㉒健康状態
- ㉓相談相手
- ㉔相談相手（複数回答）
- ㉕困窮経験
- ㉖公的制度の利用状況

### 【調査目的】

本調査は、新潟に住む子どもを取り巻く社会や経済の状況が、どのように子どもの成長や日々の生活などに影響しているかを調べ、これからの子どもや子育て環境への対策を検討していくこと及び支援を要する緊急度の高い子どもや親に優先的に施策が講じられ、より効果的な支援が実施されるよう、必要な施策の推進につなげることを目的として実施した。

### 【調査手法】

○調査対象者 新潟県内に居住する、18歳未満の子がいる世帯（回答者は保護者）  
子どもの年齢基準日：平成28年4月1日

○調査方法 住民基本台帳から無作為抽出した世帯に郵送調査  
（自記式のアンケート・留置期間約20日間）

○調査期間 平成28年9月から10月

○標本数 配布3,000世帯

### 【対象となる子どもの就学段階別回答状況】

就学前の児童	発送対象	811
	回答数	460
	回答率	56.7%
小学生	発送対象	905
	回答数	540
	回答率	59.7%
中学生	発送対象	730
	回答数	387
	回答率	53.0%
高校生	発送対象	554
	回答数	308
	回答率	55.6%
合計	発送対象	3,000
	回答数	1,695
	回答率	56.5%

【地域別回答状況】

上越	発送対象	365
	回答数	207
	回答率	56.7%
中越	発送対象	931
	回答数	557
	回答率	59.8%
下越	発送対象	1,704
	回答数	904
	回答率	53.1%
合計	発送対象	3,000
	回答数	1,668
	回答率	55.6%

※佐渡市は下越として集計

※居住地無記入 27 票を除く

【回答者】

回答者	回答数	割合
1.お母さん	1,335	78.8%
2.お父さん	348	20.5%
3.その他	6	0.4%
無記入	6	0.4%
合計	1,695	100%

【住居状況】

住居状況	回答数	割合
持ち家(分譲マンション含む)	1,308	77.2%
親族の家に同居	130	7.7%
公営住宅等	43	2.5%
借家・借間(一軒家・アパート)	185	10.9%
社宅	15	0.9%
住み込み	2	0.1%
母子生活支援施設(母子寮)	1	0.1%
その他	5	0.3%
無記入	6	0.4%
合計	1,695	100%



## 調査結果

### I 全体

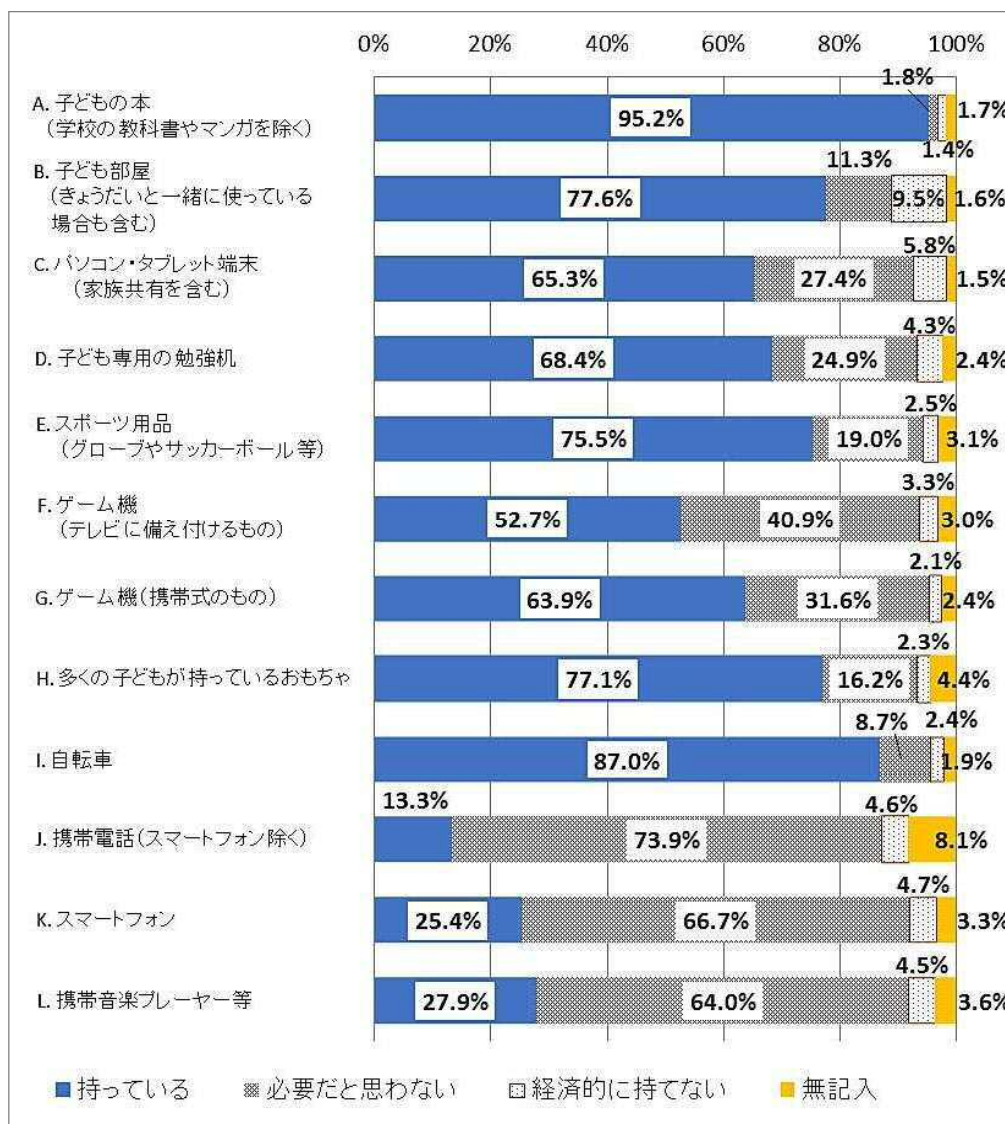
#### 【1. お子さんのことについて】

##### ①物品の所有状況

子ども用に持っているものについて、「持っている」と回答した割合が最も多いのは「A. 子どもの本」(95.2%) でした。

一方、「経済的に持てない」と回答した割合が最も多いのは「B. 子ども部屋」(9.5%) でした。

n=1695

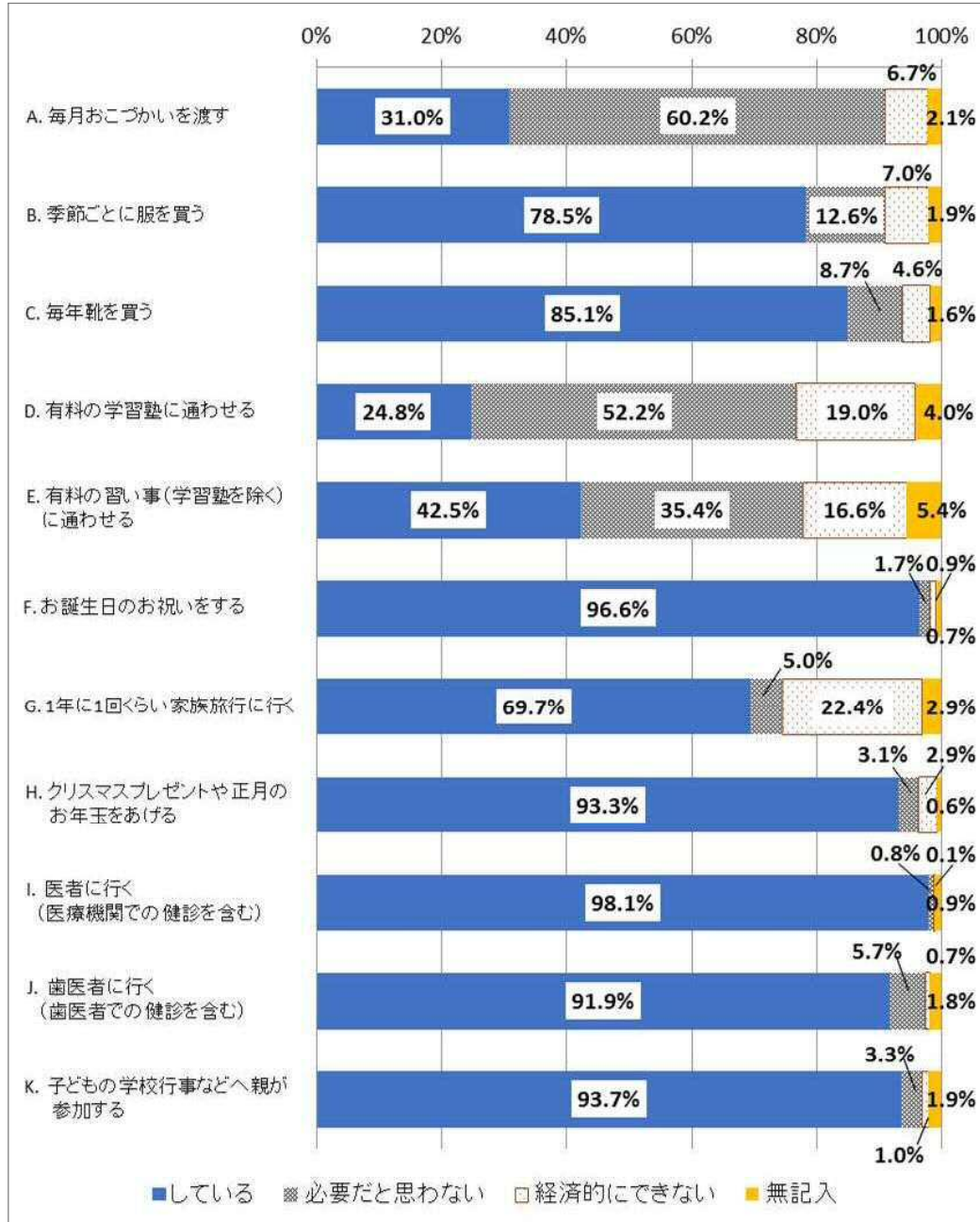


## ②子どもへの支出

子どもにしていることについて、「している」と回答した割合が最も多いのは「I. 医者に行く」(98.1%)でした。

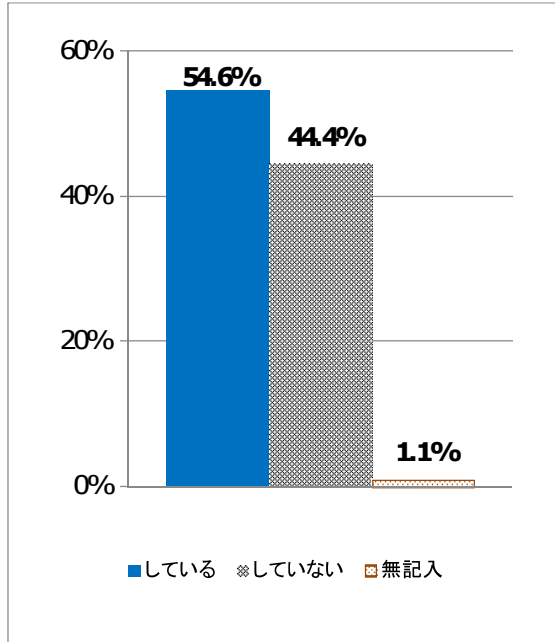
一方、「経済的にできない」を回答した割合が最も多いのは「G. 1年に1回くらい家族旅行に行く」(22.4%)でした。

n=1695



③子どもの部活動・クラブ活動の状況

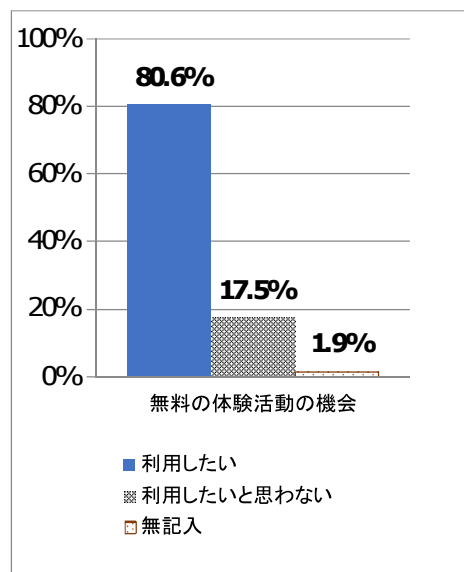
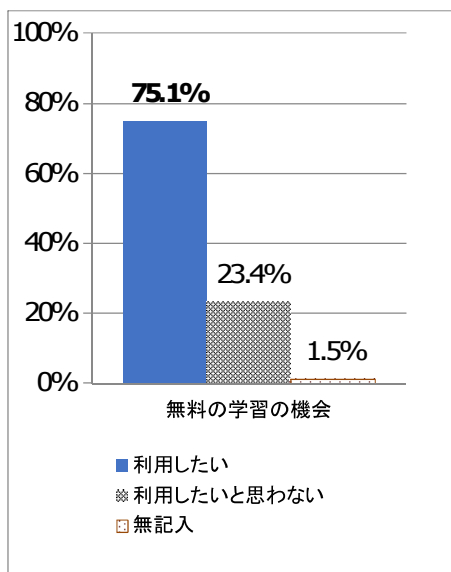
n=1695



④子どもの無料の学習機会・体験活動の利用

「利用したい」を回答した割合は、「無料の学習の機会」では75.1%、「無料の体験活動の機会」では80.6%となりました。

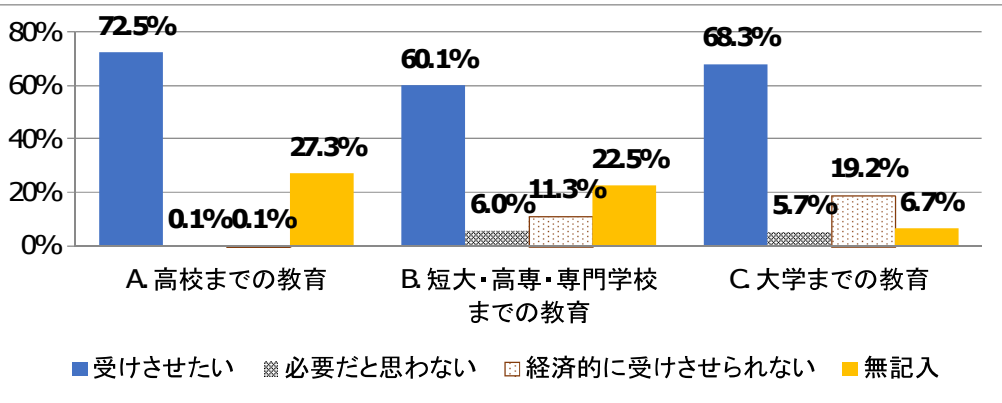
n=1695



⑤子どもに受けさせたい教育

「経済的に受けさせられない」を回答した割合は、高校 0.1%、短大・高専・専門学校 11.3%、大学 19.2%となりました。

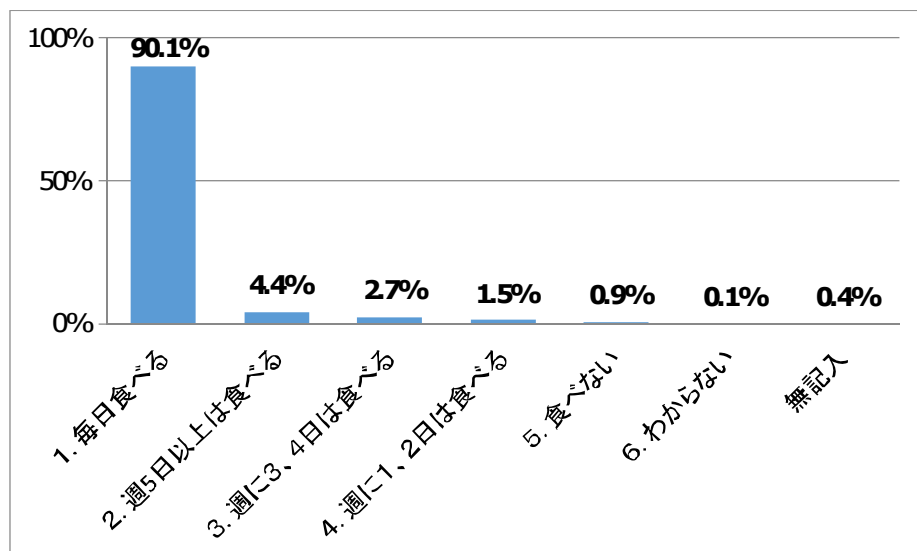
n=1695



⑥子どもが1週間に朝ごはんを食べる回数

「毎日食べる」を回答した割合は 90.1%となりました。  
一方、「食べない」と回答した割合は 0.9%でした。

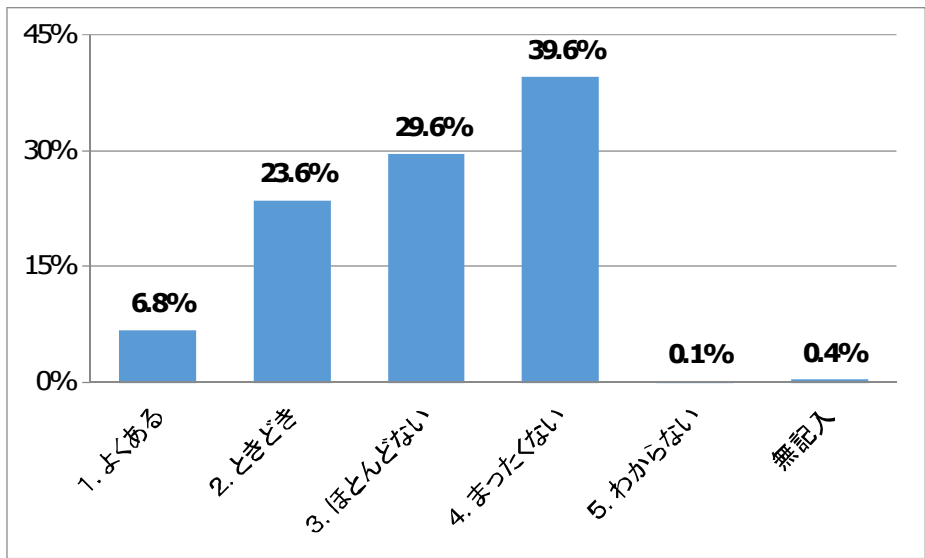
n=1695



⑦子どもだけの食事の状況

「まったくない」を回答した割合は 39.6%でした。一方、「よくある」を回答した割合は 6.8%でした。

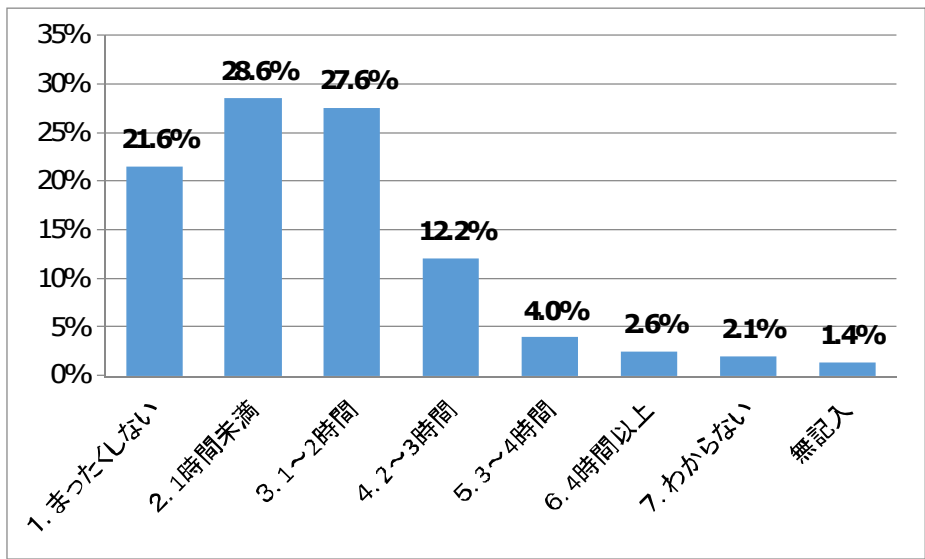
n=1695



⑧子どものゲーム・スマホ利用時間（平日）

平日の利用時間は「1時間未満」(28.6%)が最も多く、次いで「1～2時間」(27.6%)、「まったくしない」(21.6%)となりました。

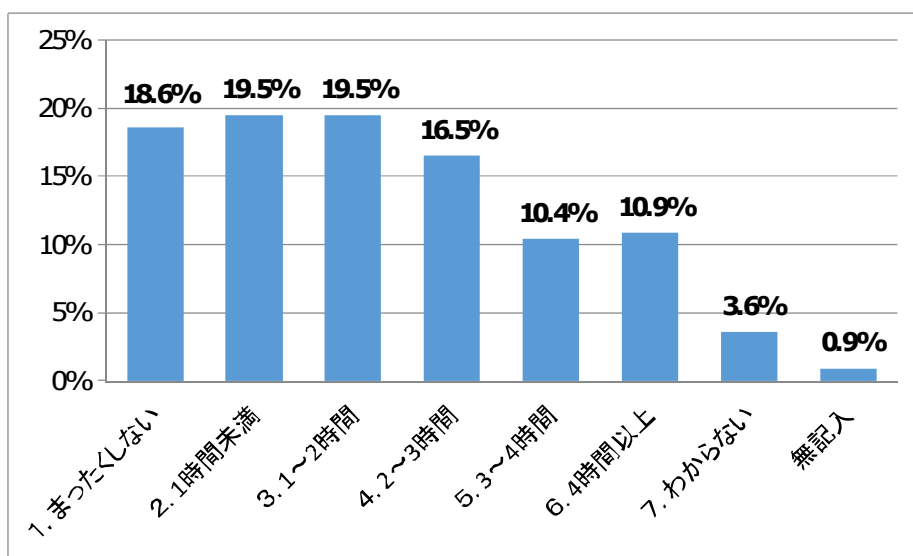
n=1695



⑨子どものゲーム・スマホ利用時間（休日）

休日の利用時間は、「1 時間未満」「1～2 時間」が 19.5%で最も多く、次いで「まったくしない」（18.6%）となりました。

n=1695

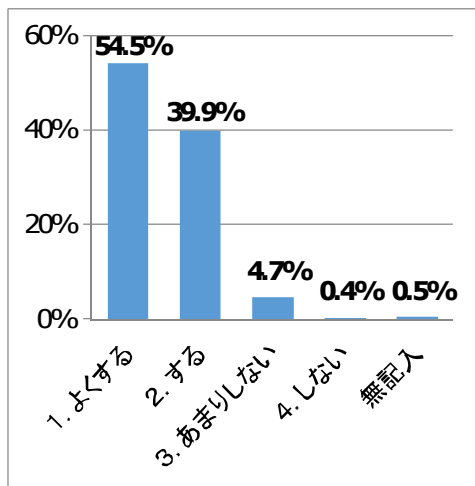


【2. お子さんとの関係について】

⑩子どもとの会話

子どもと会話を「よくする」または「する」と回答した割合は94.4%となりました。

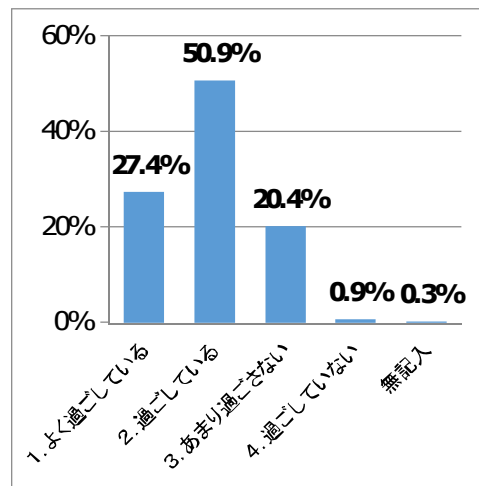
n=1695



⑪子どもと過ごす時間

子どもと過ごす時間は「よく過ごしている」または「過ごしている」と回答した割合は78.3%となりました。

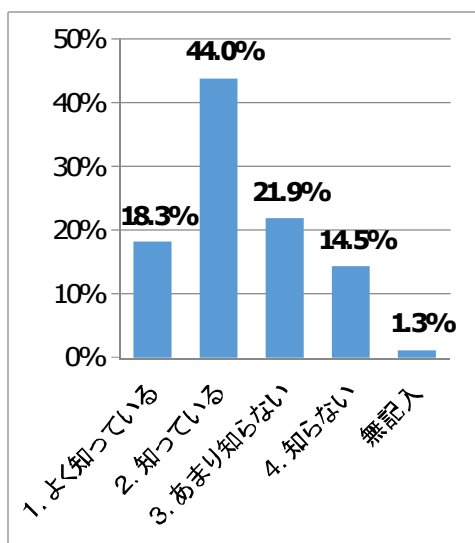
n=1695



⑫子どもの将来の夢

子どもの将来の夢を「よく知っている」または「知っている」と回答した割合は62.3%となりました。

n=1695

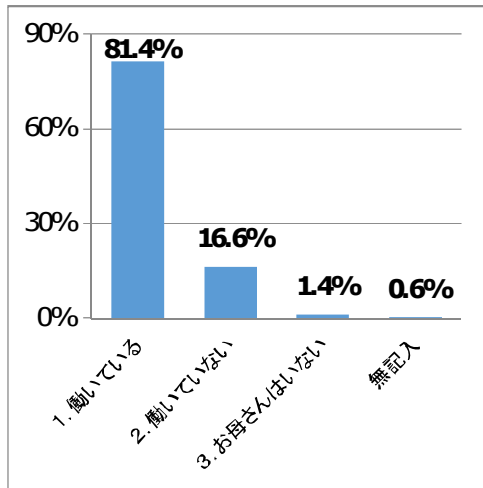


【3. 職業・収入等について】

⑬お母さんの就労

81.4%のお母さんが働いています。

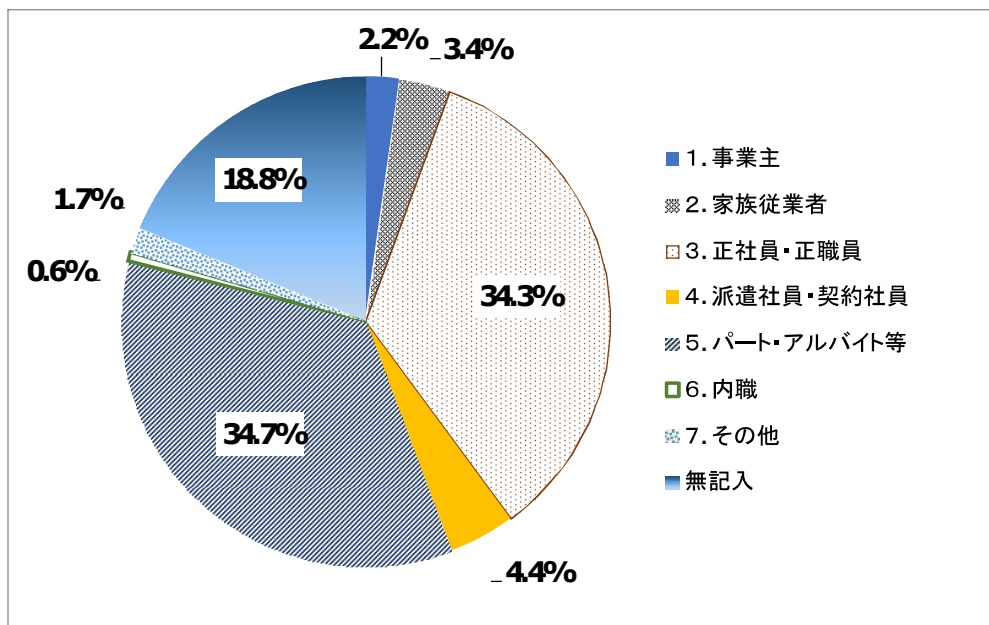
n=1695



⑭お母さんの勤務形態

最も多い形態が「パート・アルバイト等」(34.7%)、ついで「正社員・正職員」(34.3%) となっています。

n=1695

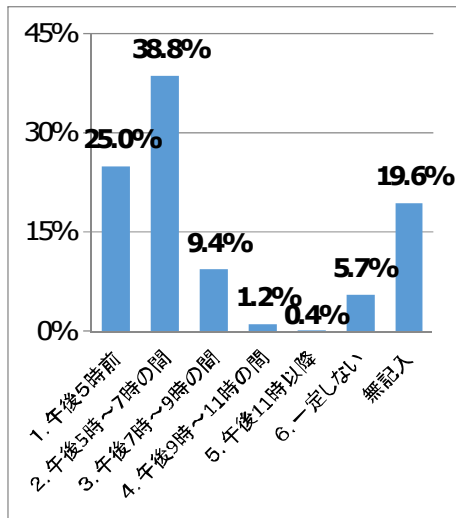




⑮お母さんの普段の帰宅時間

「午後5～7時の間」(38.8%)が最も多く、ついで「午後5時前」(25.0%)、「午後7～9時の間」(9.4%)となりました。

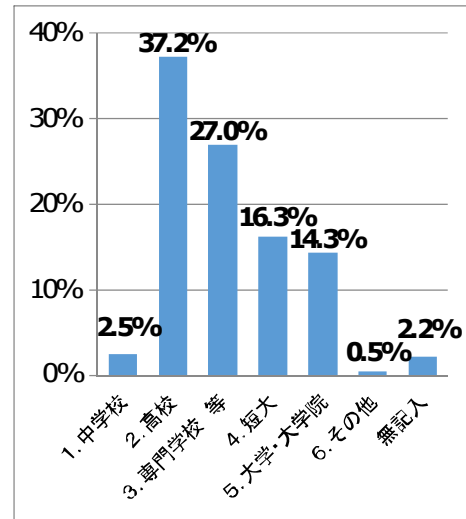
n=1695



⑯お母さんの最終学歴

「高校」(37.2%)が最も多く、ついで「専門学校(専修学校)・各種学校」(27.0%)「短大」(16.3%)、「大学・大学院」(14.3%)となりました。

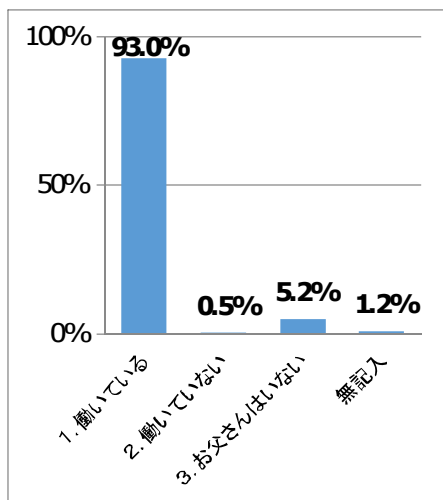
n=1695



⑰お父さんの就労

93%のお父さんが働いています。

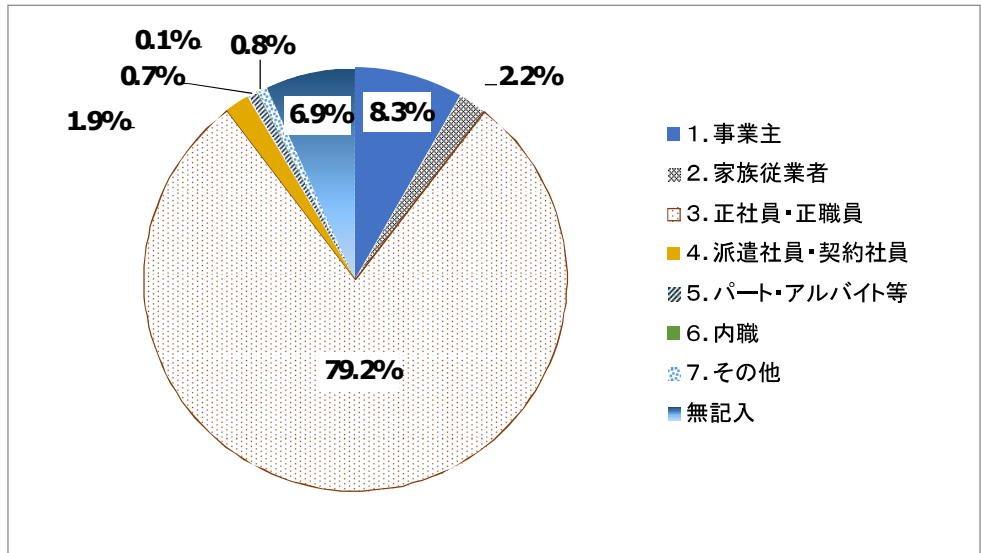
n=1695



⑱お父さんの勤務形態

最も多い形態が「正社員・正職員」(79.2%)、ついで「事業主」(8.3%)となっています。

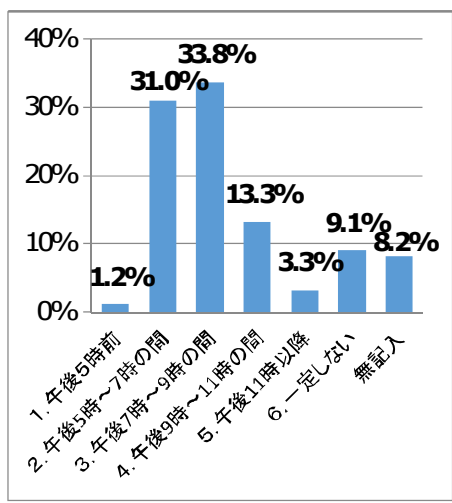
n=1695



⑲お父さんの普段の帰宅時間

「午後7～9時の間」(33.8%)が最も多く、ついで「午後5～7時の間」(31.0%)、「午後9～11時の間」(13.3%)となりました。

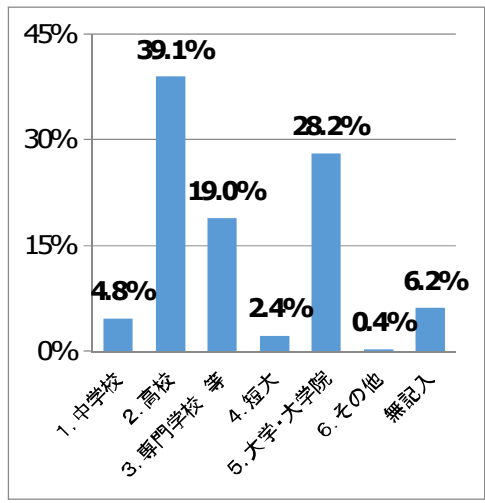
n=1695



⑳お父さんの最終学歴

「高校」(39.1%)が最も多く、ついで「大学・大学院」(28.2%)、「専門学校(専修学校)・各種学校」(19.0%)となりました。

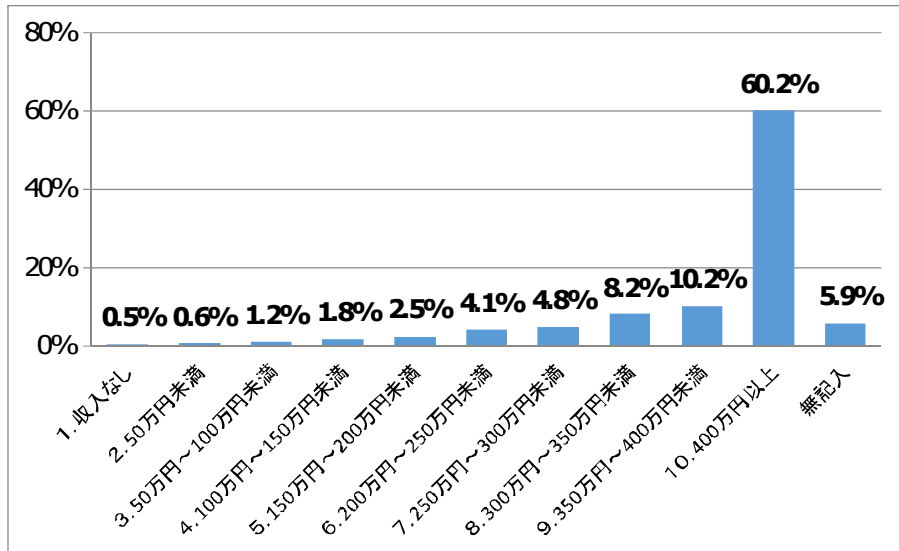
n=1695



④世帯収入

400万円未満が33.9%となっています。

n=1695



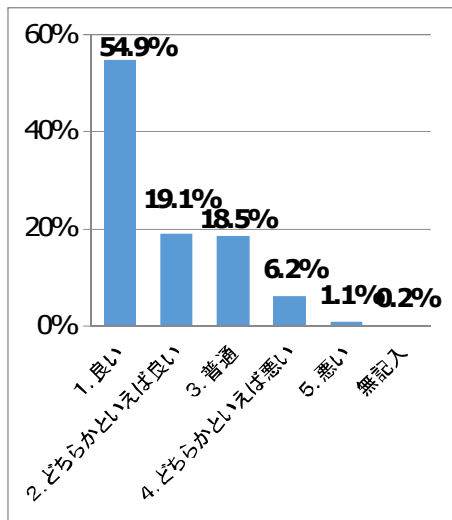
【4. 現在の暮らし等について】

②健康状態

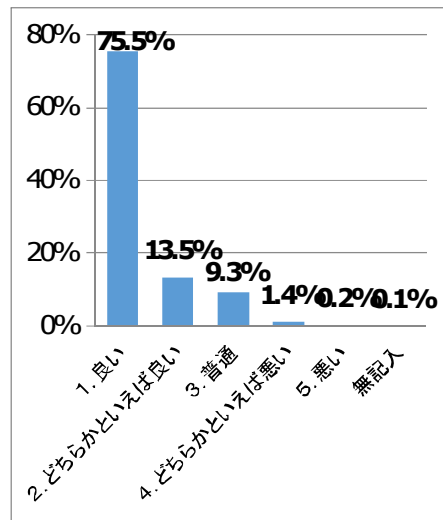
保護者の健康状態は、「良い」(54.9%)、「どちらかといえば良い」(19.1%)となりました。  
 子どもの健康状態は、「良い」(75.5%)、「どちらかといえば良い」(13.5%)となりました。

n=1695

○あなた（保護者）の健康状態



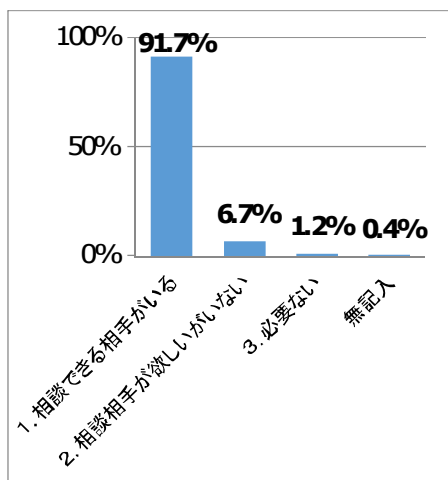
○子どもの健康状態



③相談相手

困ったときの相談相手について、91.7%が「いる」と回答しました。

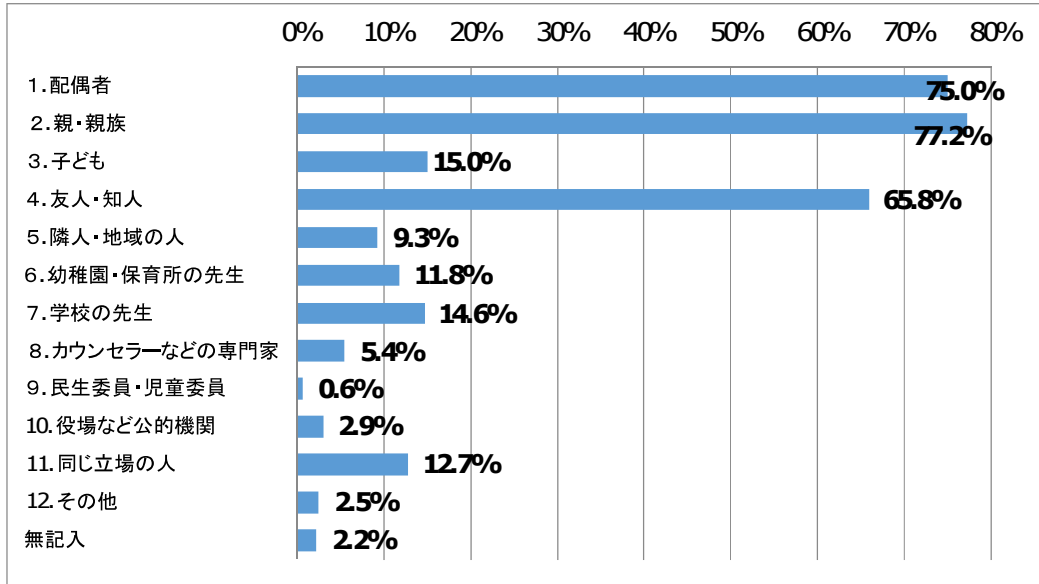
n=1695



④相談相手（複数回答）

「配偶者」（75.0%）、「親・親族」（77.2%）、「友人・知人」（65.8%）となりました。

n=1695

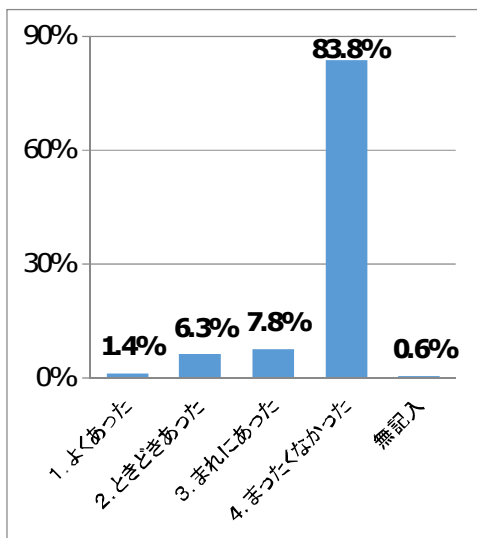


⑤困窮経験

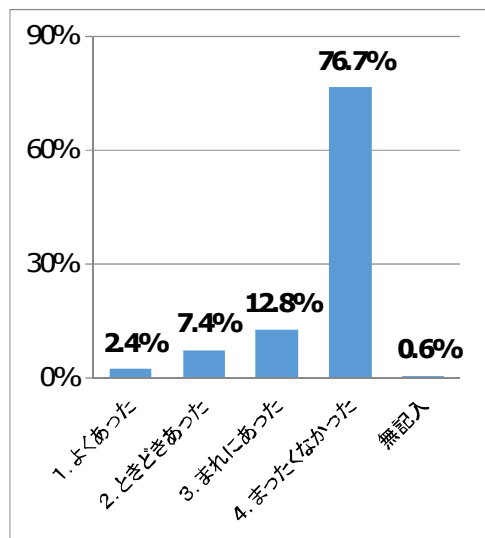
「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」と回答した割合は、食料では15.5%、衣料では22.6%となりました。

n=1695

○食料が買えなかった経験



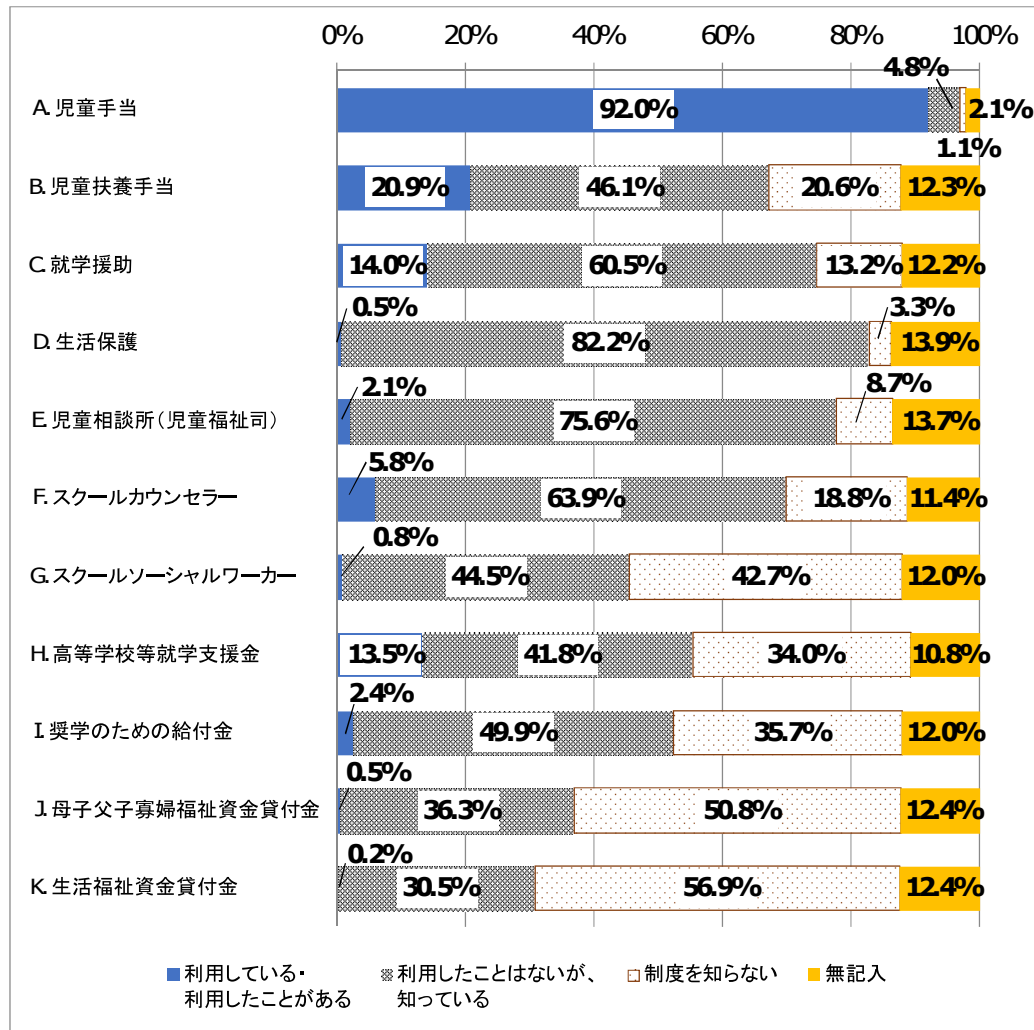
○衣料が買えなかった経験



㊦公的制度の利用状況

「制度を知らない」割合が最も多いのは「K. 生活福祉資金貸付金」(56.9%)、次いで「J. 母子父子寡婦福祉資金貸付金」(50.8%)、「G. スクールソーシャルワーカー」(42.7%) となっています。

n=1695



# 新潟県子育て世帯調査

新潟県統計報告  
登録第 28-5 号

## アンケート御協力のお願い

このアンケートは、新潟に住む子どもを取り巻く社会や経済の状況が、どのように子どもの成長や子どもの夢や希望、日々の生活などに影響しているかを調べ、これからの子どもや子育て環境への対策を検討していくことを目的として実施するものです。

この調査は、総務大臣に届出の上実施するもので、統計以外の目的に使用することはありません。

◎この調査に関するお問い合わせ

新潟県福祉保健部児童家庭課家庭福祉係

電話 025-280-5216

FAX 025-281-3641

- ・調査は、**無記名で、名前や住所など、個人を特定する情報を書いていただく必要はありません。**回答の内容は、すべて数字等の形で統計的に処理しますので、誰が何を書いたのかが他の人に知られることはありません。
- ・**営利目的に使用されることは一切ありません。**
- ・あなた自身や家族のことなどについて立ち入ったこともお聞きします。**答えにくい質問や、答えたくない質問には、答える必要はありませんが、**これからの子どもや子育て環境への対策を検討する材料となりますので、趣旨をご理解の上、**ぜひありのままをお答えいただきますようお願いいたします。**
- ・この調査票は**お子さんの保護者の方が記入してください。**
- ・この調査票の**質問の「お子さん」とは、この調査票が配布された宛名のお子さんのことを指します。**そのお子さんに兄弟姉妹がいたとしても、「お子さん」とは調査票が配布されたお子さんのみのことです。
- ・記入が終わった調査票は同封の返信用封筒に入れ、テープでしっかり閉じて、**10月3日(月)までにポストへ投函してください。**

問1 この調査票にお答えになっている方は、お子さんからみてどなたにあたりますか。  
1つに○をつけてください。

1. お母さん	2. お父さん	3. その他 ( )
---------	---------	------------

問2 あなたを含む世帯全員の人数を枠の中の区分に合わせてカッコ内に記入してください。  
0人の場合「0」の記入は不要です。「③中学生」「④高校生」「⑥短大生」「⑦大学生」  
は、公立学校または私立学校に通っている方の人数をそれぞれ記入してください。

<p>1. お子さんとお子さんの兄弟姉妹</p> <p>① 就学前の児童 ( ) 人</p> <p>② 小学生 ( ) 人</p> <p>③ 中学生 (公立 人) (私立 人)</p> <p>④ 高校生 (公立 人) (私立 人)</p> <p>⑤ 専修学校・各種学校生 ( ) 人</p> <p>⑥ 短大生 (公立 人) (私立 人)</p>	<p>⑦ 大学生 (公立 人) (私立 人)</p> <p>⑧ 就労している子 ( ) 人</p> <p>⑨ その他 ( ) 人</p> <p>2. お子さんの父母 ( ) 人</p> <p>3. お子さんの祖父母 ( ) 人</p> <p>4. その他 ( ) 人</p>
--	---

問3 あなたのお住まいの市町村を記入してください。 市・町・村

問4 あなたの現在の住居の状況について教えてください。1つに○をつけてください。

1. 持ち家（分譲マンション含む）	2. 親族の家に同居	3. 公営住宅等
4. 借家・借間（一軒家・アパート）	5. 社宅	6. 勤務先への住み込み
7. 母子生活支援施設（母子寮）	8. その他 ( )	

### お子さんのことについて

問5 あなたのご家庭ではお子さん用の次のものをお持ちですか。A～Lについて、それぞれあてはまるものに○をつけてください。

	1. 持っている	持っていない	
		2. 必要だと思わない	3. 経済的に持てない
A. 子どもの本（学校の教科書やマンガを除く）	1	2	3
B. 子ども部屋（きょうだいと一緒に使っている場合も含む）	1	2	3
C. パソコン・タブレット端末（家族共有を含む）	1	2	3
D. 子ども専用の勉強机	1	2	3
E. スポーツ用品（グローブやサッカーボール等）	1	2	3
F. ゲーム機（テレビに備え付けるもの）	1	2	3
G. ゲーム機（携帯式のもの）	1	2	3
H. 多くの子どもが持っているおもちゃ	1	2	3
I. 自転車	1	2	3
J. 携帯電話（スマートフォン除く）	1	2	3
K. スマートフォン	1	2	3
L. 携帯音楽プレイヤー等	1	2	3



問6 あなたのご家庭ではお子さんに次のことをしていますか。A～Kについて、それぞれあてはまるものに○をつけてください。

	1. している	していない	
		2. 必要だと思わない	3. 経済的にできない
A. 毎月おこづかいを渡す	1	2	3
B. 季節ごとに服を買う	1	2	3
C. 毎年靴を買う	1	2	3
D. 有料の学習塾に通わせる	1	2	3
E. 有料の習い事（学習塾を除く）に通わせる	1	2	3
F. お誕生日のお祝いをする	1	2	3
G. 1年に1回くらい家族旅行に行く	1	2	3
H. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	1	2	3
I. 医者に行く（医療機関での健診を含む）	1	2	3
J. 歯医者に行く（歯医者での健診を含む）	1	2	3
K. 子どもの学校行事などへ親が参加する	1	2	3

問7 お子さんは学校の部活動・クラブ活動、または地域のクラブ活動をしていますか。1つに○をつけ、している場合には具体的な活動の種類をすべて記入してください。

1. している（例：水泳、野球）	2. していない
------------------	----------

問8 無料の、学習や体験活動の機会があった場合、利用したいと思いますか。

無料の学習の機会	1. 利用したい	2. 利用したいと思わない
無料の体験活動の機会	1. 利用したい	2. 利用したいと思わない

問9 お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいですか。それぞれについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。（お子さんが高校生の場合はBとCのみ○をつけてください。）

	1. 受けさせたい	2. 経済的に可能だが必要だと思わない	3. 経済的に受けさせられない
A. 高校までの教育	1	2	3
B. 短大・高専・専門学校までの教育	1	2	3
C. 大学までの教育	1	2	3

3 ページへ続く

問10 お子さんは1週間に朝ご飯をどれくらい食べていますか。1つに○をつけてください。

- |                |               |                |
|----------------|---------------|----------------|
| 1. 毎日食べる       | 2. 週に5日以上は食べる | 3. 週に3, 4日は食べる |
| 4. 週に1, 2日は食べる | 5. 食べない       | 6. わからない       |

問11 普段、お子さんだけでご飯を食べることがありますか。1つに○をつけてください。

- |         |           |           |           |          |
|---------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. よくある | 2. ときどきある | 3. ほとんどない | 4. まったくない | 5. わからない |
|---------|-----------|-----------|-----------|----------|

問12 お子さんが家でゲームやスマホを利用する時間は平日(月~金)1日でどれくらいですか。1つに○をつけてください。

- |            |          |          |          |
|------------|----------|----------|----------|
| 1. まったくしない | 2. 1時間未満 | 3. 1~2時間 | 4. 2~3時間 |
| 5. 3~4時間   | 6. 4時間以上 | 7. わからない |          |

問13 お子さんが家でゲームやスマホを利用する時間は休日1日でどれくらいですか。1つに○をつけてください。

- |            |          |          |          |
|------------|----------|----------|----------|
| 1. まったくしない | 2. 1時間未満 | 3. 1~2時間 | 4. 2~3時間 |
| 5. 3~4時間   | 6. 4時間以上 | 7. わからない |          |

### お子さんとの関係について

問14 あなたとお子さんの関係について、近いもの1つにそれぞれ○をつけてください。

① あなたは、お子さんとよく会話をしますか。

- |         |       |           |        |
|---------|-------|-----------|--------|
| 1. よくする | 2. する | 3. あまりしない | 4. しない |
|---------|-------|-----------|--------|

② あなたは、お子さんと十分時間を過ごしていますか。

- |             |           |               |            |
|-------------|-----------|---------------|------------|
| 1. よく過ごしている | 2. 過ごしている | 3. あまり過ごしていない | 4. 過ごしていない |
|-------------|-----------|---------------|------------|

③ あなたは、お子さんの将来の夢を知っていますか。

- |            |          |            |         |
|------------|----------|------------|---------|
| 1. よく知っている | 2. 知っている | 3. あまり知らない | 4. 知らない |
|------------|----------|------------|---------|

### 職業・収入等について

#### ●お母さんの就労

問15 お子さんのお母さんは現在働いていますか。1つに○をつけてください。

- |          |                 |                   |
|----------|-----------------|-------------------|
| 1. 働いている | 2. 働いていない ⇒問18へ | 3. お母さんはいない ⇒問19へ |
|----------|-----------------|-------------------|

問16 勤務の形態は何ですか。1つに○をつけてください。

- |              |               |            |
|--------------|---------------|------------|
| 1. 事業主       | 2. 家族従業者      | 3. 正社員・正職員 |
| 4. 派遣社員・契約社員 | 5. パート・アルバイト等 | 6. 内職      |
| 7. その他 ( )   |               |            |

問 17 普段の帰宅時間（自宅で営業している場合は終業する時間）は、何時頃ですか。1つに○をつけてください。

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1. 午後5時前       | 2. 午後5時～7時までの間   |
| 3. 午後7時～9時までの間 | 4. 午後9時～11時までの間  |
| 5. 午後11時以降     | 6. 交代制勤務で一定していない |

問 18 お子さんのお母さんの最終学歴について、1つに○をつけてください。

- |        |           |                    |
|--------|-----------|--------------------|
| 1. 中学校 | 2. 高校     | 3. 専門学校（専修学校）・各種学校 |
| 4. 短大  | 5. 大学・大学院 | 6. その他（ ）          |

●お父さんの就労

問 19 お子さんのお父さんは現在働いていますか。1つに○をつけてください。

- |          |                 |                   |
|----------|-----------------|-------------------|
| 1. 働いている | 2. 働いていない ⇒問22へ | 3. お父さんはいない ⇒問23へ |
|----------|-----------------|-------------------|

問 20 勤務の形態は何ですか。1つに○をつけてください。

- |              |               |            |
|--------------|---------------|------------|
| 1. 事業主       | 2. 家族従業者      | 3. 正社員・正職員 |
| 4. 派遣社員・契約社員 | 5. パート・アルバイト等 | 6. 内職      |
| 7. その他（ ）    |               |            |

問 21 普段の帰宅時間（自宅で営業している場合は終業する時間）は、何時頃ですか。1つに○をつけてください。

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1. 午後5時前       | 2. 午後5時～7時までの間   |
| 3. 午後7時～9時までの間 | 4. 午後9時～11時までの間  |
| 5. 午後11時以降     | 6. 交代制勤務で一定していない |

問 22 お子さんのお父さんの最終学歴について、1つに○をつけてください。

- |        |           |                    |
|--------|-----------|--------------------|
| 1. 中学校 | 2. 高校     | 3. 専門学校（専修学校）・各種学校 |
| 4. 短大  | 5. 大学・大学院 | 6. その他（ ）          |

問 23 あなたの世帯の平成27年中の収入合計（働いて得た収入、養育費、年金収入、児童扶養手当等を含む全て）を税込みで教えてください。1つに○をつけてください。

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 収入なし          | 6. 200万円～250万円未満 |
| 2. 50万円未満        | 7. 250万円～300万円未満 |
| 3. 50万円～100万円未満  | 8. 300万円～350万円未満 |
| 4. 100万円～150万円未満 | 9. 350万円～400万円未満 |
| 5. 150万円～200万円未満 | 10. 400万円以上      |

5 ページへ続く

## 現在の暮らし等について

問 24 あなたとお子さんの健康状態について教えてください。1つに○をつけてください。

① あなたの健康状態について				
1. 良い	2. どちらかといえば良い	3. 普通	4. どちらかといえば悪い	5. 悪い

② お子さんの健康状態について				
1. 良い	2. どちらかといえば良い	3. 普通	4. どちらかといえば悪い	5. 悪い

問 25 困ったとき相談できる人はいますか。

1. 相談できる相手がいる	2. 相談相手が欲しいがない	3. 必要ない ⇒問 26 へ
---------------	----------------	-----------------

問 25-2 問 25 で「1. 相談できる相手がいる」または「2. 相談相手が欲しいがない」とお答えの方にはうかがいます。その相談相手は誰ですか。また相談相手が欲しい方はどのような相手に相談したいと思えますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者	2. 親・親族	3. 子ども
4. 友人・知人	5. 隣人・地域の人	6. 幼稚園・保育所の先生
7. 学校の先生	8. カウンセラーなどの専門家	9. 民生委員・児童委員
10. 役場など公的機関	11. 同じ立場の人	12. その他 ( )

問 26 あなたの世帯では、過去1年間の間に、経済的な理由で必要とする食料や衣料が買えないことがありましたか。(嗜好品は含みません) 1つに○をつけてください。

① 食料が買えなかった経験			
1. よくあった	2. ときどきあった	3. まれにあった	4. まったくなかった

② 衣料が買えなかった経験			
1. よくあった	2. ときどきあった	3. まれにあった	4. まったくなかった

問 27 あなたは次の公的制度を利用した(または支援を受けた)ことがありますか。A～Kについて、その利用状況で当てはまるもの1つに○をつけてください。

	1. 「利用している」・ 「利用したことがある」	2. 利用したことは ないが、知っている	3. 制度を 知らない
A. 児童手当	1	2	3
B. 児童扶養手当	1	2	3
C. 就学援助	1	2	3
D. 生活保護	1	2	3
E. 児童相談所(児童福祉司)	1	2	3

6 ページへ続く

	1. 「利用している」・ 「利用したことがある」	2. 利用したことは ないが、知っている	3. 制度を 知らない
F. スクールカウンセラー	1	2	3
G. スクールソーシャルワーカー	1	2	3
H. 高等学校等就学支援金	1	2	3
I. 奨学のための給付金	1	2	3
J. 母子父子寡婦福祉資金貸付金	1	2	3
K. 生活福祉資金貸付金	1	2	3

### 〈制度の内容について〉

#### A. 児童手当

中学校卒業（15歳の誕生日後の最初の3月31日）までの児童を養育している方を対象に手当を支給する制度。

#### B. 児童扶養手当

18歳の誕生日後の最初の3月31日までの間にある児童等を養育しているひとり親家庭の親等を対象に、手当を支給する制度。

#### C. 就学援助

経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品や学校給食費等の援助を行う制度。

#### D. 生活保護

資産や能力等すべてを活用してもなお生活に困窮する方に対し、困窮の程度に応じて必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長する制度。

#### E. 児童相談所（児童福祉司）

満18歳未満の子どものことで心配な問題について、児童福祉司等が相談を実施。

#### F. スクールカウンセラー

臨床心理に関する専門的な知識を有し、児童生徒へのカウンセリングや教職員への助言等を行うことを目的として、中学校等に配置。

#### G. スクールソーシャルワーカー

社会福祉士や精神保健福祉士等の資格を持ち、専門的な知識や技術を有する者。多様な方法を用いて学校や教育委員会の課題解決を支援するために、各教育事務所に配置。

#### H. 高等学校等就学支援金

家庭の経済的負担を軽減するため、支給要件を満たす生徒に対し、授業料に充てるための返済不要の「就学支援金」を支給する制度。

#### I. 奨学のための給付金

全ての意志ある高校生等が安心して教育を受けられるよう、授業料以外の教育費を支援するため、市町村民税が非課税である世帯の高校生等に対し、返済不要の「奨学のための給付金」を支給する制度。

#### J. 母子父子寡婦福祉資金貸付金

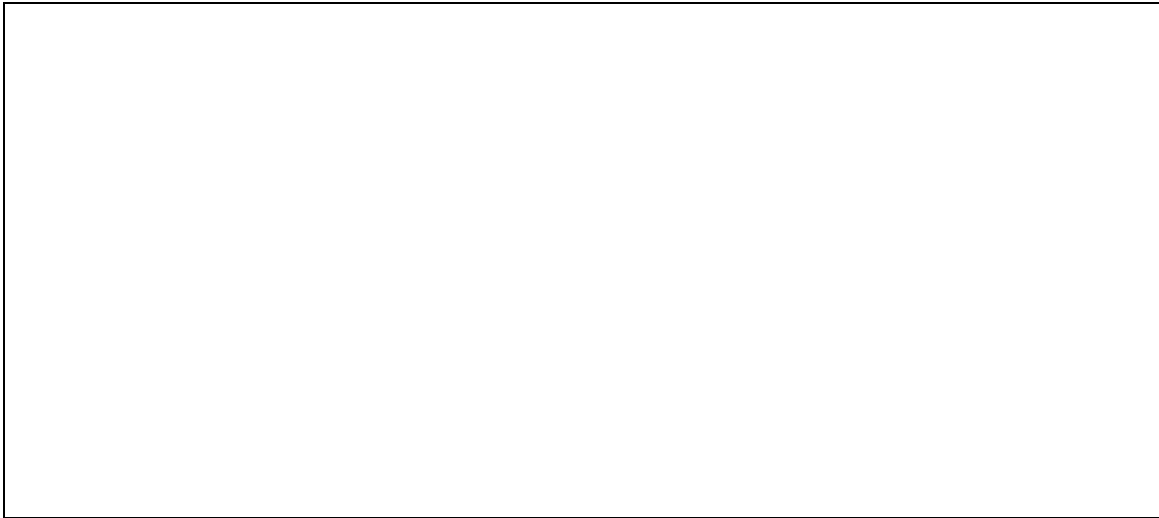
ひとり親家庭等を対象として、お子さんの学費や就労のための資格取得などに必要な各種資金の貸付けを行う制度。

#### K. 生活福祉資金貸付金

所得の少ない世帯、障害者や介護を要する高齢者のいる世帯に対して、その世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的に、無利子または低利子で資金の貸付けを行う制度。

[7 ページへ続く](#)

問 28 最後に、子どもの成長のための支援として、あるとよいもの・不足していることなどがあれば、自由にご記入ください。



～御協力ありがとうございました。～